

お詫びと訂正

下記の箇所に誤りがありました。深くお詫びして訂正をいたします。

p.13 上のほうの QR コードは正しくは右記



p.62 本文上から 3 行目 (誤) 26 問 (正) 25 問

p.63 上から 5 行目 (誤) Part 1 (正) Part 2

p.94 本文上から 13 行目 (誤) 雇う (正) 修理する

p.113 本文下から 8 行目 (誤) shorten は (正) shorten

p.116 上から 4 行目 (誤) 形容詞 (正) 副詞

p.117 下から 3 行目

(誤) focus on... ～に焦点を当てる focus mainly on... 主に～に焦点を当てる

(正) compete 競争する construction 建設

p.124 上から 2 行目 (誤) それぞれの格の代名詞が (正) 何格の代名詞が

p.126 上から 9～10 行目 (誤) he likes his (正) he likes his

主格

主格

p.128 下から 12 行目

(誤) are 下線下 動詞 (正) are 下線下 複数の名詞を主語に取る be 動詞

p.143 訳の上から 1～7 行目

(誤) ブルック・ストーン・アパートは、イースト・パーク近隣に引っ越しを検討している新しい住人を探している。(正) ブルー・トレイル・スタッフィングはクライアントのニーズに応えるために臨時雇用のマッチングサービスを提供している。

p.150 上から 7 行目

(誤) 仮定法は現実には起こらないことや起こる可能性が低いときに使われる形です

(正) この文を削除

p.150 下から 5 行目 (誤) 方針をジョンに伝える (正) ジョンの腕時計を盗む

p.152 訳の下から 2 行目

(誤) (C) ～として扱う (D) ～として仕える (正) (C) 扱う (D) 仕える

p.166 24 の問題を削除

p.176 ふたつ目の訳

(誤) (A)they の主格 (B)they の目的格 (C)they の所有代名詞 (D)they の再帰代名詞

(正) (A) 主格 (B) 目的格 (C) 所有代名詞 (D) 再帰代名詞

p.181 ふたつ目の訳 (A)～(D) の訳を削除

p.182 30 番目の問題の解説の 3 行目 (誤) whoever 「～する人」 (正)

whoever 「～する人は誰でも」

2 番目の訳の下から 4 行目

(誤) (A) ～する人 (B) ～ない人は誰でも (正) (A) ～する人は誰でも (B) 誰でも